

平成23年度第4次補正予算

北陸地方整備局関係

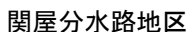
参 考 資 料

しなのがわかりゅう

信濃川下流では、平成16年7月洪水をうけ復旧事業により堤防が整備され、一部の橋梁部を除き平成16年7月洪水相当を安全に流下させることが可能となりました。しかし、平成23年7月新潟・福島豪雨ではそれを上回る洪水であったため、水位が上昇し危険な状態となったことなどから、信濃川下流域の治水安全度を向上させるため、堤防の整備及び河道掘削を実施します。

築堤、河道掘削を行うことにより、信濃川下流域の治水安全度を向上させます。

- ・本川下流の上所地区において築堤整備を引き続き実施し、早期完成に向けて事業を推進します。
- ・関屋分水路地区において河道掘削を実施し、早期整備効果の発現に向けて事業を推進します。



事業の概要

阿賀野川右岸の満願寺地区は、平成23年7月新潟・福島豪雨において水位が上昇し危険な状態となったことから、今後、同規模の出水が発生した場合に安全に流下させるため、河道掘削を実施します。

整備効果

- ①河道掘削により水位の上昇を抑制し、阿賀野川の治水安全度を向上させます。
- ②洪水の安全な流下を図るため、堤防の機能上で必要な堤防断面を確保することにより、阿賀野川の治水安全度を向上させます。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

満願寺地区において河道掘削を実施し、早期整備効果の発現にむけて事業を推進します。

位置図



【満願寺地区】



しな の がわ か り ゆ う

さぐりがわちゅうりゅういきどしやさいがいたいさく

信濃川下流水系直轄砂防事業（三国川中流域土砂災害対策）の推進 にいがた みなみうおぬま 新潟県南魚沼市

事業の概要

三国川中流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨により土石流が発生し、下流一帯が土石流による災害に見舞われました。特に、堆積土砂によって流向が変わり、高平沢に土石流が集中したため、下流の土沢地区の家屋が甚大な被害を受けました。

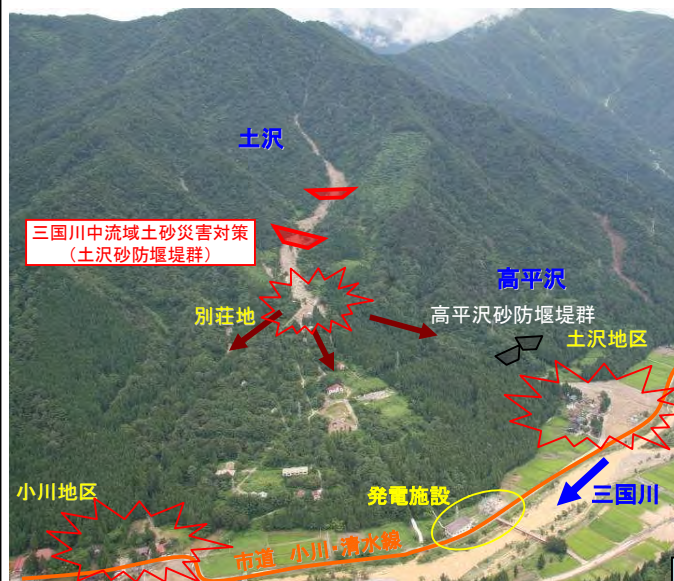
本流域内には、依然大量の不安定な土石流堆積物が堆積しており、再度豪雨に見舞われた場合に、土石流が発生する可能性が高く、直下流に発電施設も存在することから、再度災害が発生した場合、その影響がより広域に及ぶことが懸念されるため、早急に砂防堰堤を整備する必要があります。

整備効果

砂防堰堤群の整備により、再度災害を防止し、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

砂防堰堤群の整備を推進します。



全 景

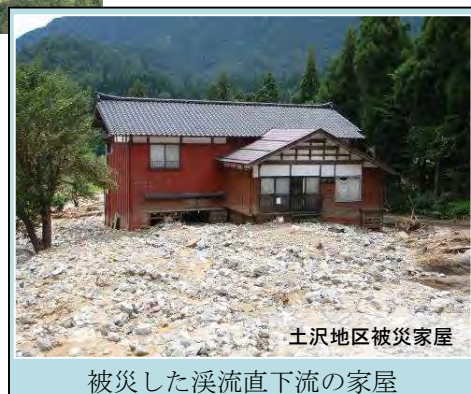


不安定土砂が堆積する堰堤計画位置（土沢）



位置図

凡 例
← : 土石流流下方向
★ : 災害発生箇所



被災した溪流直下流の家屋

おおこうづ かどうぜき
大河津可動堰改築の整備推進
ながおか つばめ
新潟県長岡市、燕市

事業の概要

大河津可動堰は、信濃川しなのがわと大河津分水路の分派点に位置し、昭和6年に完成して以来、洗堰とともに大河津分水の根幹的施設(分流制御施設)として、治水、利水機能等に大きな役割を果たしてきました。しかし、設置後70年以上経過し、施設本体の老朽化が顕著となるとともに、流下能力が不足し、その抜本的対策が急務となっていることから平成25年度の完成を目指して改築事業を進めています。

整備効果

可動堰の改築により施設の安全性及び流下能力の向上を図ります。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

可動堰の改築を引き続き実施し、早期整備効果の発現に向けて事業を推進します。



平成23年12月14日撮影



じょうがん じ がわ

常願寺川水系直轄砂防事業（多枝原谷上流砂防堰堤群）の推進

と やま と やま
富山県富山市

事業の概要

常願寺川流域は、脆弱な火山噴出物と、約150年前（安政5年）に発生した大地震により鳶山の崩壊土砂が、立山カルデラ内に不安定な状態で堆積しているため、大規模な出水が発生した際は、富山平野の沿川地域に土砂災害による甚大な被害が発生することが懸念されます。

荒廃が著しい立山カルデラからの土砂流出を抑制するために、多枝原谷上流砂防堰堤群の整備を推進します。

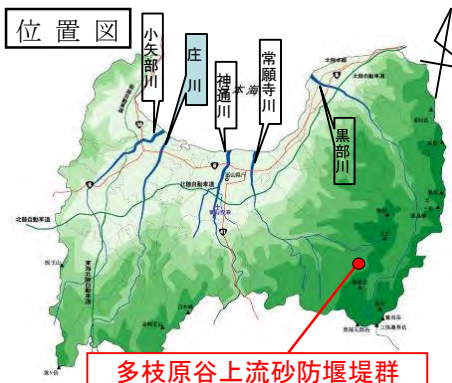
整備効果

下流に広がる富山平野をはじめとする沿川地域の土砂災害に対する安全度の向上を図ります。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

砂防堰堤群の整備を推進します。

位置図



大災害をもたらした鳶崩れ



全 景



荒廃著しく土砂流出が
顕著な湯川上流域

しょうがわ
庄川 弱小堤対策等の推進
いみず
富山県射水市

事業の概要

庄川は砺波・射水平野を貫流する急流河川であり、氾濫域には高岡市・射水市等の人口、資産等が集中しています。また、下流部は流下能力が大きく不足していることから、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。平成16年10月の台風23号出水では、観測史上最大の流量を観測するとともに危険水位を超過し、庄川下流の高岡市、射水市で避難勧告が発令されました。

このため、治水安全度の向上を目的に、大きく流下能力が不足している射水市新湊地区における堤防整備等の弱小堤対策を推進します。

整備効果

戦後最大流量を記録した平成16年台風23号と同程度の出水を安全に流すことができますようになります。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

新湊地区において引き続き弱小堤対策を実施し、早期整備効果の発現に向けて事業を推進します。



くろべがわ
黒部川 急流河川対策の推進
くろべ
富山県黒部市

事業の概要

急流河川特有の流水の強大なエネルギーから堤防の決壊・破堤を防止するため洗掘・侵食に対する安全度の低い区間について急流河川対策を実施します。

整備効果

洪水時の強大な流水エネルギーから堤防を保護し、治水安全度が向上されます。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

下立地区において引き続き急流河川対策を実施し、早期整備効果の発現のため事業を推進します。



かけはしがわ

梯川 重点区間河川改修の推進

こまつ

石川県小松市

事業の概要

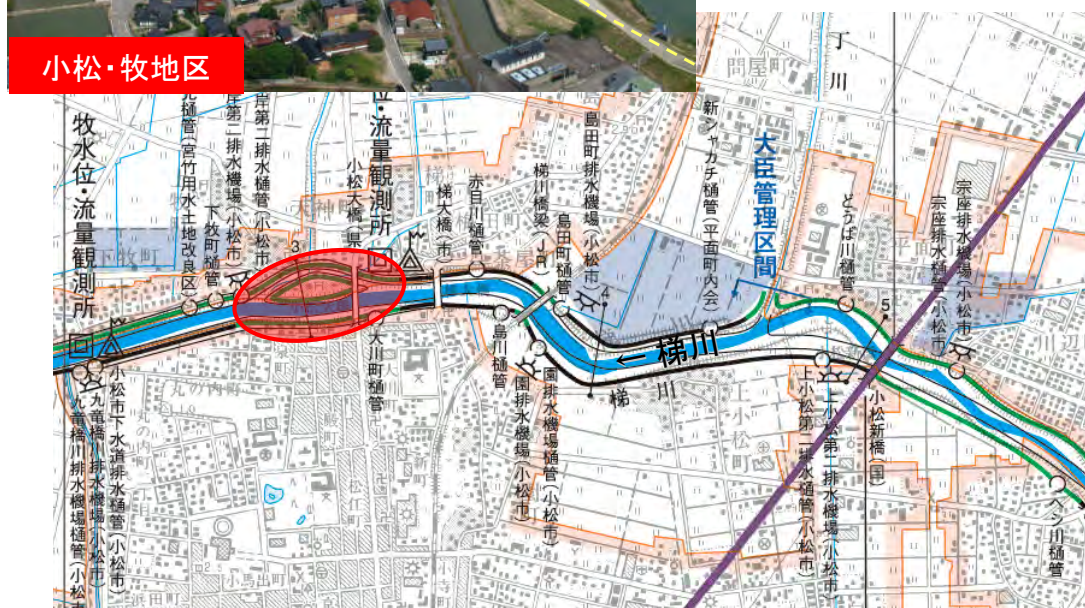
梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している1.0km～7.6km迄（前川合流点～鍋谷川合流点間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。また改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

小松・牧地区において引き続き堤防整備を実施し、早期整備効果の発現のため、事業を推進します。



手取川水系直轄砂防事業（柳谷中流砂防堰堤群）の推進 石川県白山市

事業の概要

手取川上流域は、急峻な地形と脆弱な地質に覆われ、豪雪と多雨による厳しい気象条件により荒廃が著しく、出水時には土砂の流出が続いています。一方で流域には、年間5万人が訪れる白山観光及び登山の拠点施設や、85万人の水道を担う手取川ダム等の重要施設が多数存在するため、大規模な出水により、これらの施設が被災するとその影響が甚大になることが懸念されます。

手取川支川の牛首川上流の柳谷では、溪岸の浸食崩壊が著しく、河床には昭和9年7月豪雨を始めとした過去の出水による不安定な土砂が大量に堆積しているほか、既設の砂防施設の一部が損傷しているため、大規模な出水により下流に被害が発生することが懸念されます。

柳谷中流砂防堰堤群は、柳谷の中流部において砂防堰堤群を整備することにより、溪岸の浸食を防止し、土石流を補足することにより、下流域の土砂災害に対する安全度を向上させる事業です。

整備効果

砂防堰堤群の整備により、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度の向上を図るとともに、白山登山・観光における拠点施設や手取川ダム等の地域の重要施設を保全します。

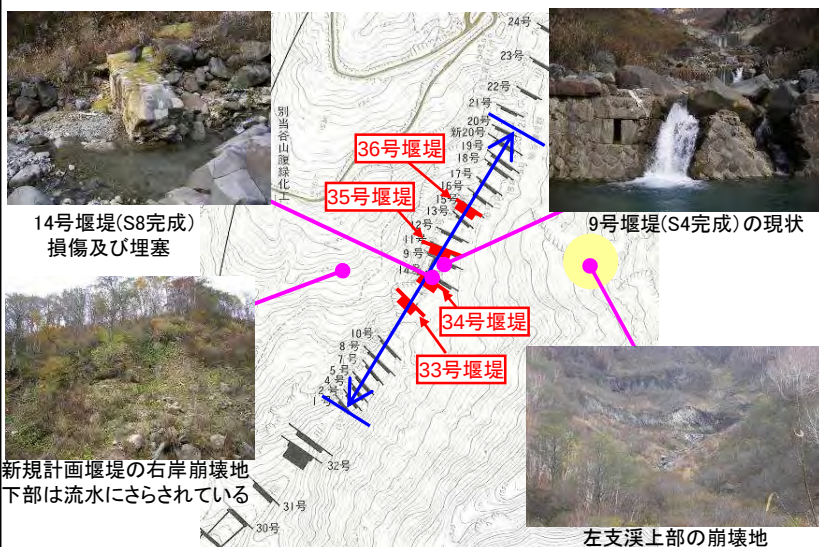
平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国】

砂防堰堤群の整備を推進します。

全景写真



位置図



平成11年9月15日(台風16号)
柳谷上流部(基之助谷)から
土石流が発生



昭和9年手取川大水災害時の様子
(推定1億m³を超える土砂が
流出し河床が著しく上昇)

いしかわ

石川海岸

侵食・越波対策の推進

いしかわ

こまつ

石川県小松市

事業の概要

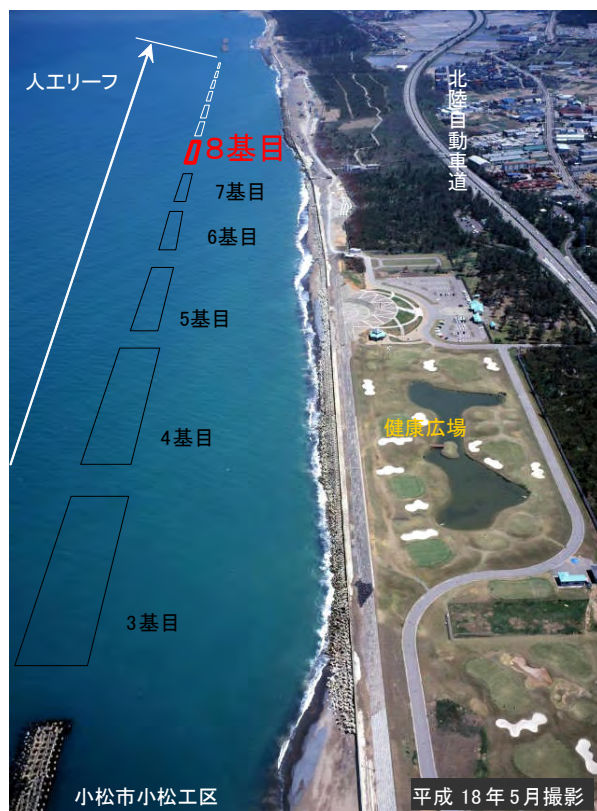
石川海岸小松工区は、侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。そのため、平成16年度から海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を推進しています。

整備効果

近年、堤防の倒壊が頻発している小松工区において、人工リーフ整備を推進し、当該工区背後地の小松市街地や北陸自動車道等を侵食や越波による被害から守り、安全度を向上させます。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

小松市小松工区において人工リーフ1基（8基目）を推進します。



^{ひめ かわ} 姫川水系直轄砂防事業（^{うら かわじょうりゅう さ ぼう えん てい ぐん} 浦川上流砂防堰堤群）の推進 ^{なが の きた あ ずみ お たり} 長野県北安曇郡小谷村

事業の概要

姫川支川の浦川流域には、明治44年8月の稗田山大崩壊による大量の崩壊土砂が現在も不安定な状態で堆積しています。また、上流部の唐松沢は荒廃が著しく土砂流出も顕著なため、土砂災害発生の危険性が非常に高い状態にあります。

浦川上流砂防堰堤群は、荒廃の著しい浦川上流域に砂防堰堤群を整備します。

整備効果

砂防堰堤群の整備により、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度の向上を図ります。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

砂防堰堤群の整備を推進します。



浦川上流砂防堰堤群全景



浦川上流にある稗田山崩壊地

国道 8 号 しろね 白根バイパス事業の推進 にいがた しろね 新潟県新潟市

事業の概要

白根バイパスは、一般国道 8 号の にいがた しろね 新潟市白根市街地の慢性的な交通混雑の緩和及び沿道環境改善を目的とした、にいがた ほさか 新潟市南区保坂から とがしら 同区戸頭に至る延長約 5.9 km の道路です。

整備効果

- ・市街地部での交通渋滞の緩和
- ・現道区間の通過車両の減少による交通事故の削減
- ・騒音の低下による沿道環境の改善

平成 23 年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

補正予算（ゼロ国債）の充当により、にいがた あじがた 新潟市南区鰺潟～とがしら 戸頭間の地盤改良工事、函渠工事の早期発注が可能となり、冬期期間を避けた施工を推進することで、平成 26 年度の供用に向け着実に事業進捗を図ります。



戸頭地区改良工施工状況

国道17号 浦佐バイパス事業の完成

うらさ
にいがた みなみうおぬま うおぬま
新潟県南魚沼市、魚沼市

事業の概要

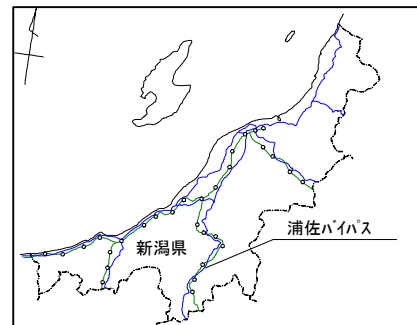
浦佐バイパスは、国道17号の南魚沼市から魚沼市間における交通混雑の緩和及び冬期交通障害区間の解消を目的とした、延長約6.6kmの道路です。

整備効果

- ・市街地部での交通混雑の緩和
- ・冬期交通障害区間の解消
- ・地域振興の支援

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

補正予算（ゼロ国債）の充当により、浦佐～十日町間の舗装工事の早期発注が可能となり、冬期期間を避けた施工を推進することで、平成24年度の供用に向け着実に事業進捗を図り、降雪期前の供用が可能となります。



水無川橋(仮称)施工状況

国道253号 じょうえつさんわ 上越三和道路事業の推進 にいがた じょうえつ 新潟県上越市

事業の概要

じょうえつさんわ 上越三和道路は、じょうえつうおぬま 上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成する地域高規格道路であり、冬期を含めた安全性・信頼性を確保し、高規格幹線道路との連携により広域的な交流を促進し、地域の活性化に大きく寄与する、延長約7.0kmの道路です。

整備効果

- ・ 広域的な地域の連携強化、活性化
- ・ 冬期を含めた道路交通の安全性、信頼性の確保

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

じょうえつ てら つるまち 補正予算（ゼロ国債）の充当により、上越市寺～鶴町間の改良工事及び地盤改良工事の早期発注が可能となり、冬期期間を避けた施工を推進することで、着実に事業進捗を図ります。



鶴町地区改良工施工状況

国道 7 号 ^{むらかみ} 村上地区事故対策事業の推進
^{にいがた} ^{むらかみ}
新潟県村上市

事業の概要

当該箇所は、国道 7 号の村上市街地に位置し、大型商業施設を含む店舗が沿道に連続しているため、沿道店舗への出入りに起因する追突事故が多発しています。

本事業は、中央ゼブラ帯の設置や交差点での必要滞留長（左折レーン）の確保を行うものです。

整備効果

中央ゼブラ帯の設置や交差点部での必要滞留長（左折レーン）の確保することにより、追突事故の防止を図ります。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

補正予算（ゼロ国債）の充当により、改良工事の早期発注が可能となり、冬期期間を避けた施工を推進することで、平成25年度の供用に向け着実に事業進捗を図ります。

【位置図】



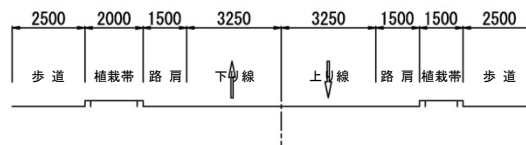
【平面図】



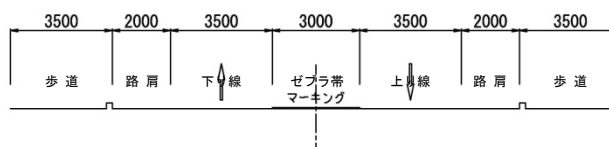
【現況写真】



【現況断面図】



【計画断面図】



国道 17号 むい か まち 六日町電線共同溝の推進 にいがた みなみうおぬま 新潟県南魚沼市

事業の概要

当該電線共同溝は、南魚沼市の中心市街地に位置し、周辺に立地する市役所や緊急避難場所に指定されている市民会館及び地域振興局を結ぶ防災上重要な区間を整備するものです。

整備効果

無電柱化することにより、災害時における電柱等の倒壊を防止し、防災拠点施設の機能維持を図るとともに、避難や救急・消火活動、物資輸送路確保等、都市防災機能を向上させます。

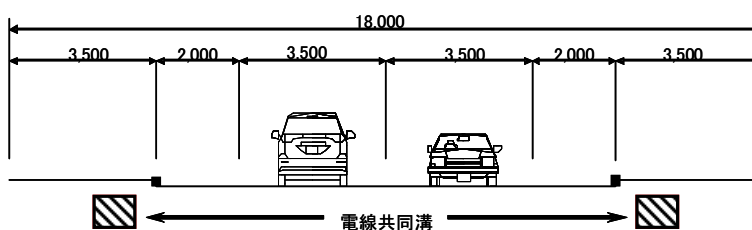
平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

補正予算（ゼロ国債）の充当により、本体工事の早期発注が可能となり、冬期期間を避けた施工を推進することで、平成25年度の供用に向け着実に事業進捗を図ります。

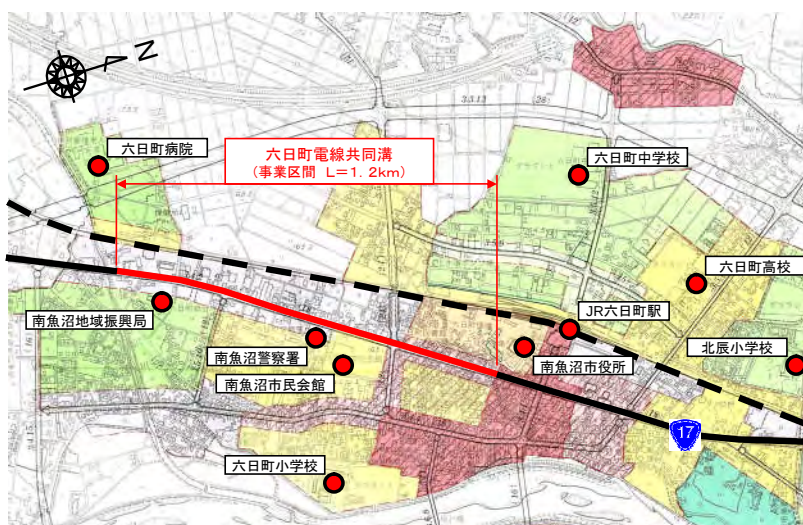
【位置図】



【標準断面図】



【平面图】



新潟7号 防災・震災対策の推進

黒川地区防雪対策

事業の概要

一般国道7号は、新潟県新潟市を起点として青森県青森市に至る延長約550kmの路線であり、第一次緊急輸送道路として位置づけられている重要な路線です。

新潟県胎内市黒川地区は、新潟県内における地吹雪多発地域であり、度々交通障害を引き起こしています。

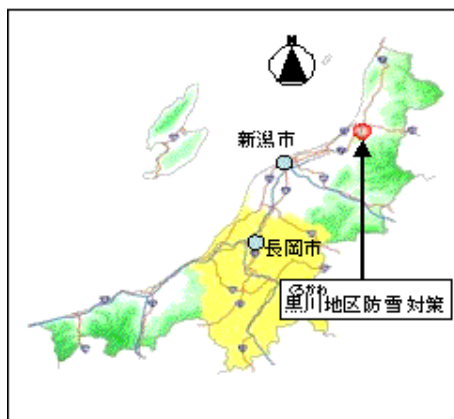
整備効果

地吹雪対策として防雪柵の設置により、安心して円滑な冬期道路交通の確保が図られます。

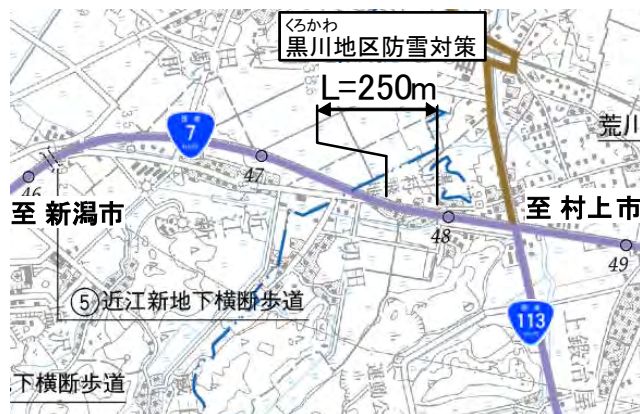
平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

補正予算（ゼロ国債）の充当により、地吹雪対策として防雪柵を設置し、降雪期前までの防雪柵の完成を図ります。

【位置図】



【現況写真】



【冬期の状況（整備前）】



【防雪柵設置イメージ】



国道470号 ななお ひみ 七尾氷見道路事業の推進 とやま ひみ 富山県氷見市

事業の概要

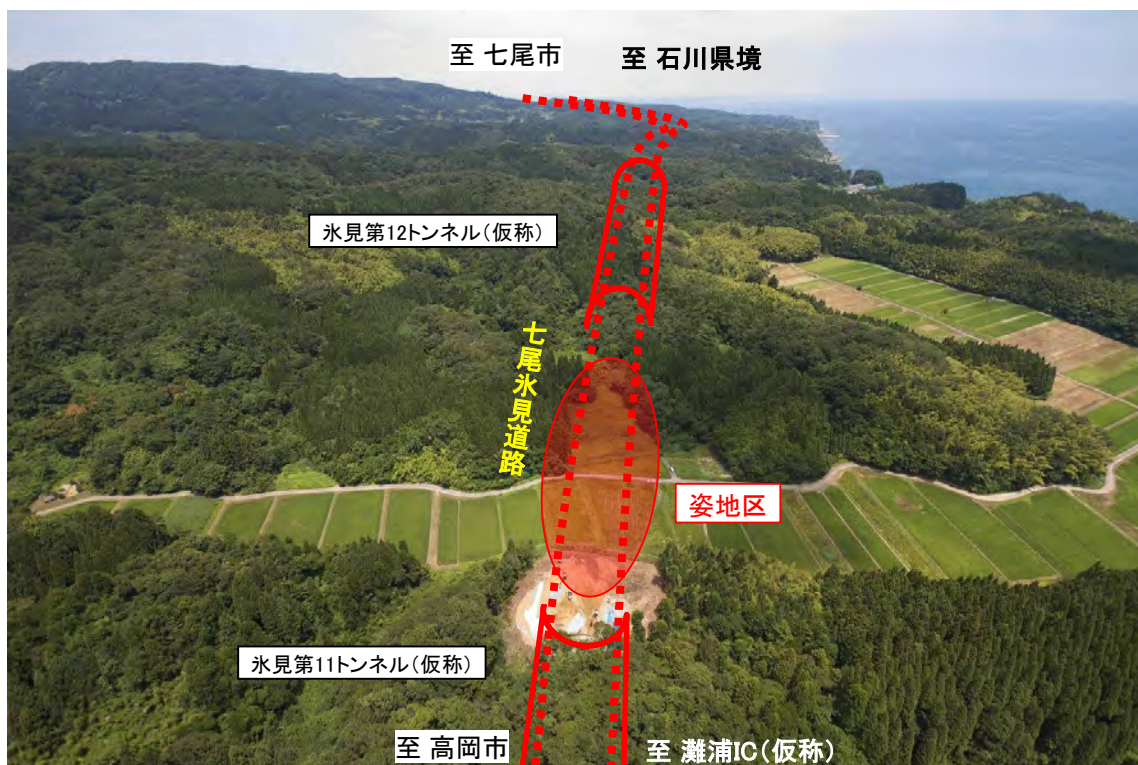
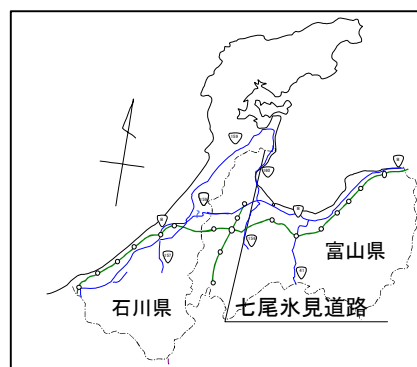
七尾氷見道路は、能越自動車道の一部を構成し、高規格幹線道路網の形成と重要港湾七尾港・国際拠点港湾伏木富山港へのアクセス強化、国道160号の事前通行規制区間の迂回を目的とした道路であり、富山県内では石川県境から氷見市大野間の延長約14.5kmで事業を推進しています。

整備効果

- ・高速交通ネットワーク形成による、能登地域の交流促進
- ・事前雨量規制や災害、越波による交通規制が頻繁に行われる国道160号の代替機能確保

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

補正予算（ゼロ国債）の充当により、石川県境～灘浦IC間の地盤改良工事、改良工事の早期発注が可能となり、冬期期間を避けた施工を推進することで、平成26年度の供用に向けて着実に事業進捗を図ります。



国道 8 号 にゅうぜんくろべ 入善黒部バイパス事業の推進 にゅうぜんまち くろべ うおつ 富山県入善町、黒部市、魚津市

事業の概要

入善黒部バイパスは、入善町から魚津市間の交通混雑の緩和及び、沿道環境改善を図ることを目的とした延長 16.1 km の事業です。

整備効果

- ・ 現道の渋滞緩和
当該事業の整備により、現国道 8 号の交通混雑が大幅に緩和される他、バイパスを利用することにより、入善町から魚津市間の所要時間が短縮される見込みです。
- ・ 現国道 8 号の交通混雑緩和に伴い CO2 排出量の削減が見込まれます。

平成 23 年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

補正予算（ゼロ国債）の充当により、なかしん 中新跨道橋の下部工事の早期発注が可能となり、冬期期間を避けた施工を推進することで、平成 26 年度の供用に向け着実に事業進捗を図ります。



国道470号 七尾氷見道路事業の完成

石川県七尾市

事業の概要

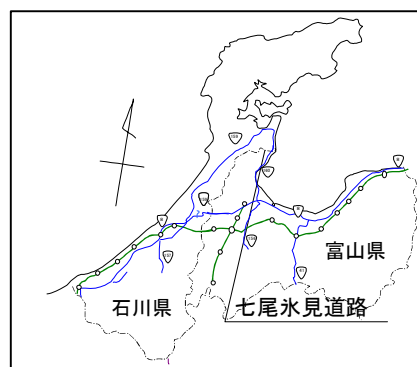
七尾氷見道路は、能越自動車道の一部を構成し、高規格幹線道路網の形成と重要港湾七尾港・国際拠点港湾伏木富山港へのアクセス強化、国道160号の事前通行規制区間の迂回を目的とした道路であり、石川県内では七尾市八幡から富山県境間の延長約13.6kmで事業を推進しています。

整備効果

- ・高速交通ネットワーク形成による、能登地域の交流促進
- ・事前雨量規制や災害、越波による交通規制が頻繁に行われる国道160号の代替機能確保

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

補正予算（ゼロ国債）の充当により、七尾東IC～大泊IC間の改良工事、トンネル設備工事及び七尾IC～七尾東IC間の橋梁下部工事の早期発注が可能となり、冬期期間を避けた施工を推進することで、平成24年度及び平成26年度の供用に向けて着実に事業進捗を図る。



国道 159 号 かなざわとうぶ 金沢東部環状道路事業の完成 いしかわ かなざわ 石川県金沢市

事業の概要

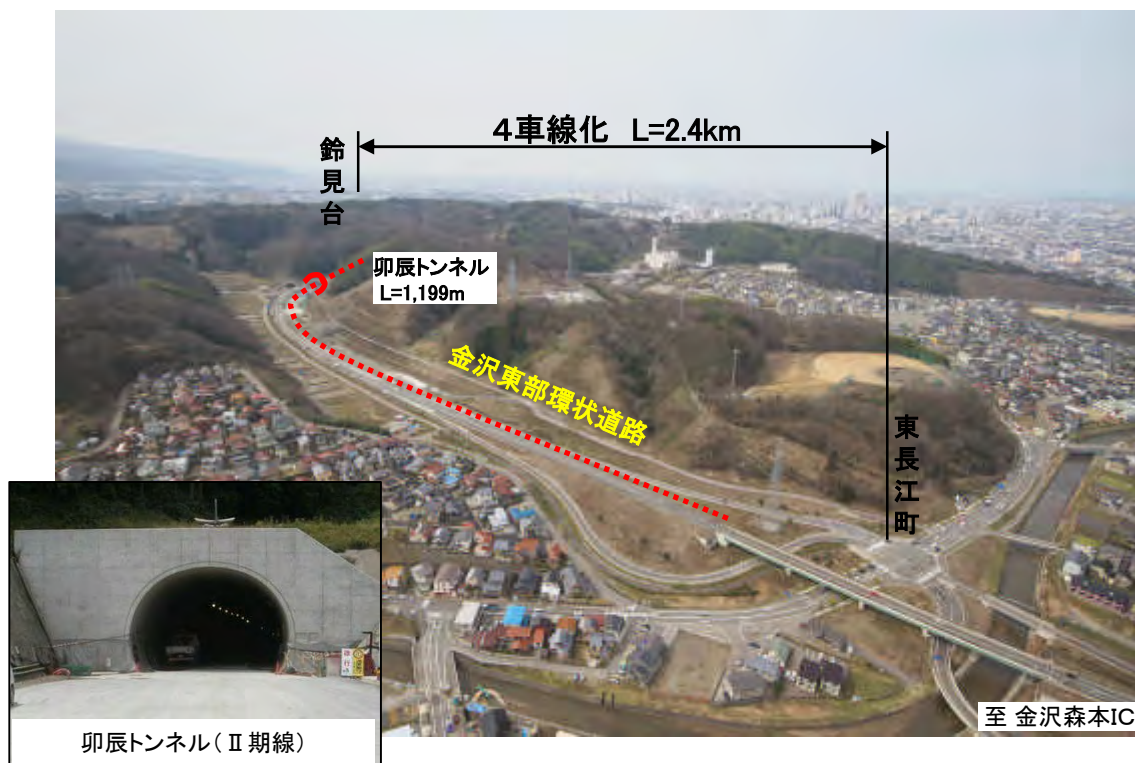
かなざわ とうぶ 金沢東部環状道路は、地域高規格道路 かなざわ 金沢外環状道路の一部を構成し、かなざわ 金沢都市圏内における交通混雑の緩和を図るとともに、北陸自動車道や能登有料道路とあわせて、広域的な道路ネットワークの形成を目的とした、延長約 9.4 km の道路です。

整備効果

- ・ かなざわ 金沢都市圏内における交通混雑の緩和
- ・ 主要観光地へのアクセス向上
- ・ 高度医療施設（第三次医療施設：かなざわ 金沢大学附属病院）への救急搬送時間の短縮

平成 23 年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

補正予算（ゼロ国債）の充当により、うたつ 卯辰トンネルの設備工事及び東長江町～鈴見台間の舗装工事の早期発注が可能となり、冬期期間を避けた施工を推進することで、平成 24 年度の供用に向け着実に事業進捗を図り、降雪期前の供用が可能となります。



にいがた ひがしこうく
新潟港東港区
防波堤改良事業の推進
にいがた にいがた
新潟県新潟市

事業の概要

新潟港東港区では、本州日本海側最大の取扱量を誇る国際海上コンテナ物流拠点として、また地域産業を支える原材料輸入拠点としての役割を担っています。第一線防波堤である防波堤（西）は、港内の静穏度確保のため整備されましたが、堤体の前面が洗掘されたことによる波高増大によって不安定な状態にあります。堤体の安定性確保のため、防波堤改良事業を進めています。

整備効果

堤体の安定性が確保されることから、風浪等による堤体の被災が回避できます。防波堤の被災が回避されることにより、新潟港（東港区）において、安定した港湾荷役が確保され、港湾利用を不可欠とする企業群の経済活動を可能とし、地域経済の発展を支援します。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

防波堤の改良事業を推進します。



未消波区間越波状況

位置図



にいがた にしこうく
新潟港西港区
防波堤整備事業の推進
にいがた にいがた
新潟県新潟市

事業の概要

新潟港西港区では、環日本海交流のゲートウェイとして内貿及び国際交流の拠点の役割を担っています。

港の静穏度を確保するため、防波堤整備事業を推進しています。

整備効果

港内静穏度が確保され、船舶の安定運航が可能となり、物流・人流を支え地域経済活動の維持・発展を支援します。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

防波堤の整備事業を推進します。

位置図



新潟港海岸西海岸地区 海岸保全施設整備事業の推進

新潟県新潟市

事業の概要

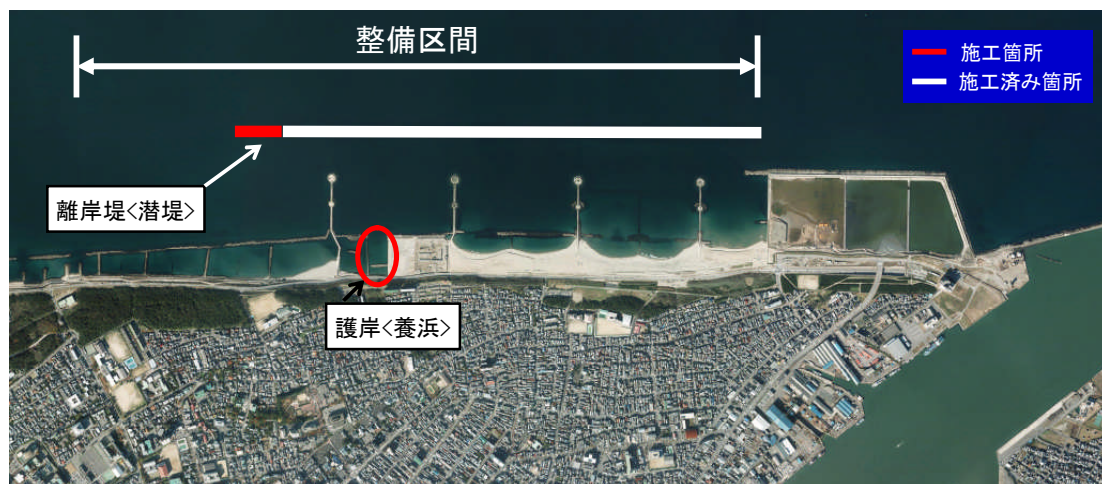
新潟港海岸西海岸地区は、日本海側特有の冬期風浪等の影響を受ける日本有数の侵食海岸であり、離岸堤と護岸による侵食対策工事が行われてきました。しかし、これらの施設の機能維持には継続的な対策が必要となること及び老朽化による施設の倒壊や越波被害の危険性が高いことから、恒久的な対策として海岸地形の安定と広い静穏水域を創出し、防護に加えて景観・親水空間にも配慮した面的防護工法による海岸整備を推進しています。

整備効果

面的防護工法により失われた砂浜の復元と背後地域の安全を確保します。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

離岸堤<潜堤>、護岸<養浜>の整備を推進します。



ふしきとやま しんみなと
伏木富山港新湊地区
臨港道路整備事業の推進
とやま いみず
富山県射水市

事業の概要

伏木富山港新湊地区は、平成14年4月に国際物流ターミナルが供用されるなど、環日本海物流の拠点として重要な役割を担っています。臨港道路東西線は、広域幹線道路と連結することによって、港湾関連貨物の物流の円滑化および効率化を図るとともに、港湾利用者の利便性を向上させることを目的としています。

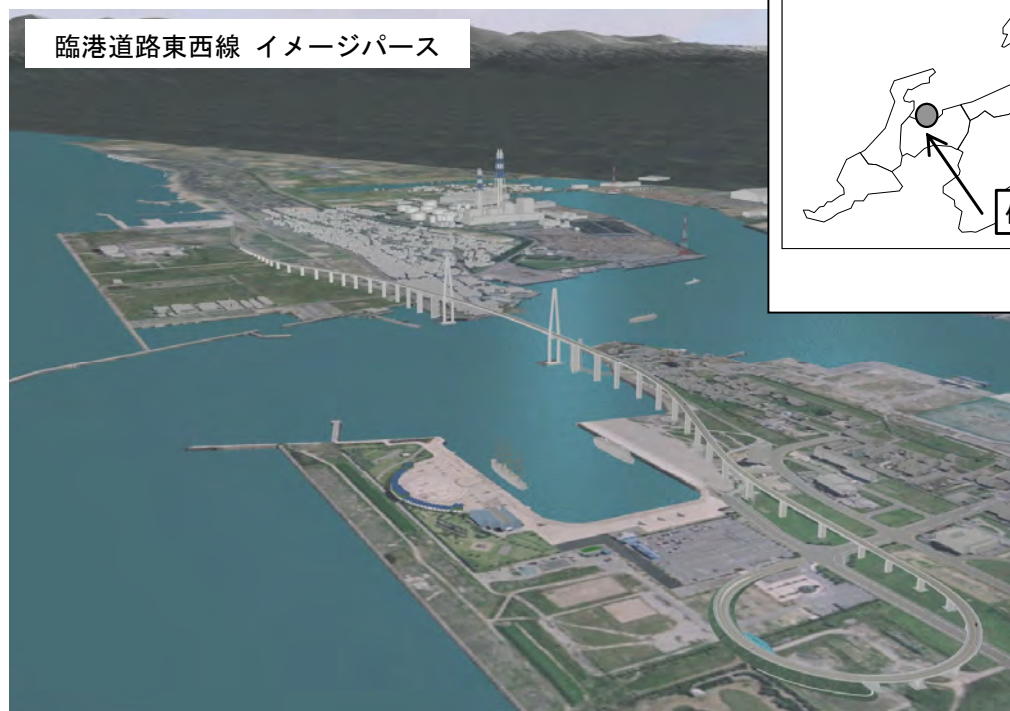
整備効果

港湾関連交通の円滑化を実現し、物流の効率化を図ることにより、更なる国際競争力の強化を図ります。

また、年間約80万人にも及ぶ海王丸パークの来訪者および射水市東西の地域住民の通行の円滑化、交流の活性化が図られます。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

付帯設備の整備を推進します。



かなざわ おおの
金沢港大野地区
国際物流ターミナル整備事業の推進
いしかわ かなざわ
石川県金沢市

事業の概要

金沢港は、北陸地方の政治・経済の中心都市の一つである金沢市及び産業都市小松市をはじめとする石川県の物流拠点として、市民生活・産業活動に重要な役割を担っています。

平成18年度より地域経済の動向に即応し、船舶の大型化への対応を図り、物流コストの削減及び効率的な輸送と荷役作業を可能とする国際物流ターミナル整備（水深13m）を進め、平成20年11月に水深12mで暫定供用を開始しました。

引き続きターミナル整備を推進し、金沢港の更なる機能強化を図ることで、地域の経済活動と雇用を支援します。

整備効果

ターミナルの整備に伴い大型船入港が可能となり、物流の効率化によるコスト削減が図られ、北陸地域のさらなる国際競争力の強化を推進します。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

防砂堤及び防波堤の整備を推進します。



七尾港大田地区
国際物流ターミナル整備事業の推進
石川県七尾市

事業の概要

七尾港は、木材流通加工基地、エネルギー基地として発展してきましたが、近年の木材運搬船の大型化により、木材加工の重要基地として基盤整備・拡充が求められており、国際物流ターミナル整備（水深13m）を実施しています。平成19年12月に水深10mで暫定供用を開始し能登地域の経済発展に寄与するものとして期待されています。

整備効果

ターミナルの整備に伴い大型船舶が入港可能となり、海上輸送費用が削減されることで、地域産業の国際競争力強化を図り、地域の経済発展及び雇用の確保を支援します。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

航路（水深13m）の整備を推進します。

位置図



わじま わじまざき
輪島港輪島崎地区
避難港整備事業の推進
いしかわ わじま
石川県輪島市

事業の概要

能登半島外浦は、航行船舶にとって能登越えの難所として知られており、荒天時の避泊に適する水域が少ないことから静穏な避難泊地の早急な確保が求められています。当該防波堤は、荒天時における航行船舶の安全な避難泊地を確保することを目的に整備を推進しています。

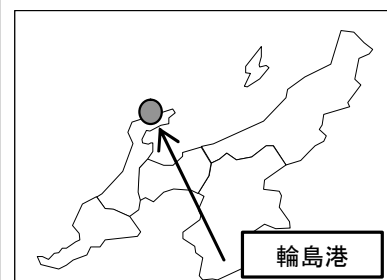
整備効果

沿岸域を航行する船舶の安全性が向上し、海難事故の防止につながります。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

防波堤の整備を推進します。

位置図



輪島港



防波堤(第6)

つるが まるやまみなみ
敦賀港鞠山南地区
国際物流ターミナル整備事業の推進
ふくい つるが
福井県敦賀市

事業の概要

敦賀港内で静穏な水域を確保し、航行船舶の安全性や荷役稼働率を向上させ、効率的な港湾物流を実現するため防波堤の整備を推進しています。

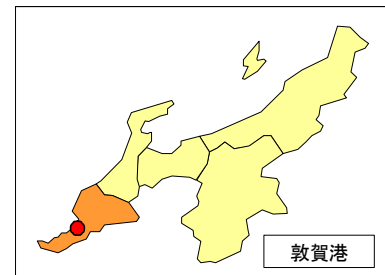
整備効果

港内静穏度が確保され船舶の安定運航が可能となることにより、物流機能の向上、敦賀港背後地域の経済発展に寄与します。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

防波堤の整備を推進します。

位置図



福井港海岸福井地区 海岸保全施設整備事業の推進 福井県福井市・坂井市

事業の概要

福井港海岸は、その背後に県内有数の工業団地が立地し、福井県における重要な産業及びエネルギー基地の拠点となっています。

福井港海岸では、日本海特有の冬期波浪による既設護岸前面で侵食が生じており、侵食による波高増大や消波ブロックの飛散、越波による護岸背後の陥没被害などが多発しています。併せて、地震発生時には護岸背後地の地盤が「液状化する」との結果になったことなど現状施設は非常に危険な状態となっています。

「離岸堤〈潜堤〉」と吸い出し対策と耐震（液状化）対策の複合的技術である「護岸（改良）」による侵食対策事業を推進しています。

整備効果

冬期風浪を起因とする護岸前面の著しい侵食や越波の抑制、陥没の発生防止を行うとともに、地震発生時における護岸の機能を確保します。

平成23年度補正予算の事業内容【ゼロ国債】

離岸堤〈潜堤〉の整備、護岸の改良を推進します。



